

**単元（題材）目標**

- 自分の成長を振り返り、できるようになったことがわかり、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができる。
- 手話について調べる活動を通して、障がいのある人々への理解を広げ、思いやりの気持ちを持たせる。「手話付き校歌を伝えよう」

(1) 実施時期

2月～3月

(2) 対象（学年等・人数）

第1・2学年 173名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 第1・2学年担任教諭

**(4) 実施内容**

- 新2年生が入学式で、新1年生に手話をしながら、校歌を披露する。
- 2年生で実行委員を開き、手話について調べて、教える計画を立てる。
- 2年1組→1年1組というようにペアの組を作り、教える。

(5) 成果

- 校歌の意味を知ることができる。

手話にはそれぞれの動作に意味がある。それを確かめながら行うことで、歌詞の内容がしっかり理解できるようになる。

- 進級に向けての意欲が高まる。

2年生は1年生に教えることで、先輩としての気持ちが高まる。1年生は、入学式で披露することで、昨年の入学式を思い出し、小学校生活が1年たったことを知る。

- 伝統を受け継ぐ。

毎年入学式で行っていることなので、自校の校歌の内容を知り誇りに思う。

(6) その他

- 異学年で交流することにより、上級生としての自覚や進級への希望が生まれた。
- 手話について学ぶことで、障がいのある人々への理解を広げることができた。